

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【公表番号】特表 2009-534485 (P2009-534485A)

【公表日】平成 21 年 9 月 24 日 (2009.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2009-038

【出願番号】特願 2009-505804 (P2009-505804)

【国際特許分類】

C 0 8 L 53/02 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 L 91/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 53/02

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 91/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 6 日 (2012.1.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) 水素化スチレン系ブロックコポリマー 100 重量部 (前記水素化スチレン系ブロックコポリマーは、50 重量%以上のモノビニル芳香族炭化水素単位を含むポリマーの少なくとも 2 つのブロック (A) および 50 重量%以上の共役ジエン単位を含むポリマーの少なくとも 1 つの選択的水素化ブロック (B) を含み、前記モノビニル芳香族炭化水素含有量は、ブロックコポリマーの全重量を基準にして 10 から 50 重量%の範囲にあり、最初に調製されるポリ (共役ジエン) ブロック (B) におけるビニル含有量は 30 から 80 % の範囲にあり、水素化スチレン系ブロックコポリマーは、前記ブロック (B) における残留オレフィン系不飽和に関して少なくとも 30 % の水素化の程度を有し、このブロックコポリマーは、1 つのポリ (モノビニル芳香族炭化水素) ブロックおよび 1 つのポリ (共役ジエン) ブロックを有するジブロックコポリマーと 40 重量%までの量において混合されてもよい。)、

b) ポリオレフィン (II) 20 から 150 重量部、および

c) ゴム軟化剤 (III) 50 から 300 重量部を含み、ならびに、

d) 充填剤を含まないか、充填剤 0 から 300 重量部を含み、

(i) 前記水素化スチレン系ブロックコポリマー (I) は、線状ブロックコポリマーに対しては 250 ~ 700 kg / mol の範囲、放射状ブロックコポリマーに対しては 250 ~ 1,000 kg / mol の範囲のピーク平均見掛け分子量 (ASTM D - 5296) を有すること、および

(ii) 前記ポリオレフィン (II) は、5 から 50 g / 10 分の、190 / 2.16 kg での MFR を有する高密度ポリエチレン (IIa)、および 1 から 40 g / 10 分の、230 / 2.16 kg での MFR を有するポリプロピレン (IIb) (ASTM D 1238) の、0.2 から 5 の重量比 (IIa) / (IIb) における混合物であること  
を特徴とする、

ショア A が 30 から 90 のデュロメーター硬度 (ASTM D2240) を有する熱可塑性エラストマー組成物。

【請求項 2】

射出成型および / または押出しによる、請求項 1 に記載の熱可塑性エラストマー組成物から製造された成型品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

以下の実施例で使用されるブロックコポリマーは、250 kg/mol 未満のピーク MW を持つ Kraton G1654、ならびに 250 kg/mol を超えるピーク MW を有する G1651、G1633 および MD6944 であり、後者の 2 つは 300 kg/mol を超えるピーク MW を有する。HDPE 等級は HD5226E および DMDA8007 である。また、比較目的のために、2250 g/10 分 (190 / 2.16 kg での) のメルトインデックスの報告値を持つ、Eastman 社のポリエチレン、Epolene (商標) C10 が使用される。実施例で使用される PP 等級は、HP501L、HA722L および H0500 である。Primol 352 および Drakeol 34 は油として使用された。充填剤としては、Durcal 5 または Vicron 25-11 が使用された。